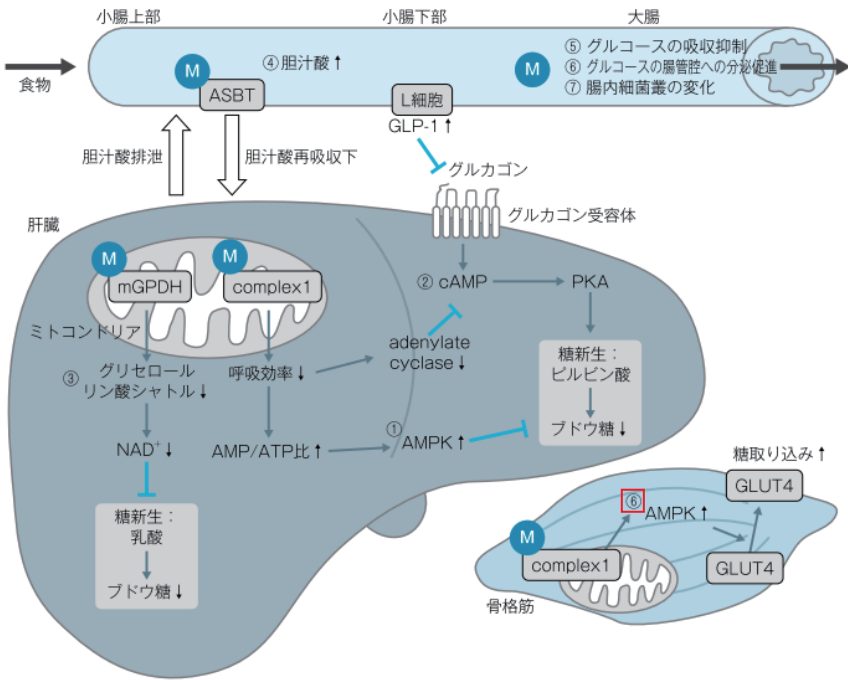
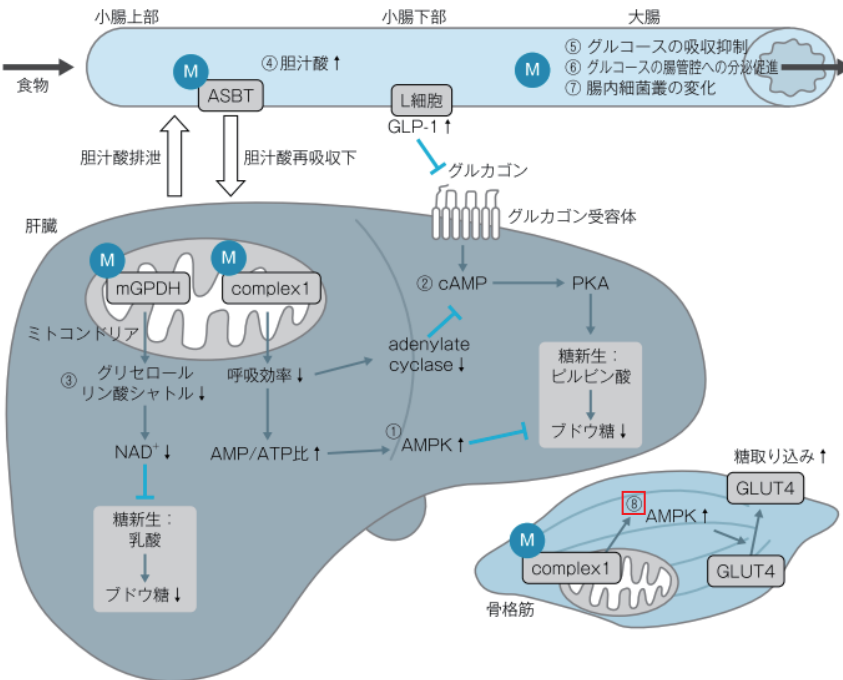


『徹底解説！糖尿病治療薬 選び方・使い方』

(第1刷)

正誤表

本書におきまして、下記の通り記載内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

頁	該当箇所	誤	正
33	図 II -1-1	 <p>図 II-1-1 ● メトホルミンの作用機序</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電子伝達系の complex 1 の抑制と AMP キナーゼ (AMPK) の活性化を介する、肝糖新生の抑制。 ② 電子伝達系の complex 1 の抑制とグルカゴンシグナルの抑制を介する、肝糖新生の抑制。 ③ グリセロールリン酸シャトルの抑制による肝糖新生の抑制。 ④ 胆汁酸トランスポーター (ASBT) の阻害による腸管内胆汁酸増加と GLP-1 の増加を介するグルカゴン作用の抑制。 ⑤ グルコースの吸収抑制 ⑥ グルコースの腸管腔への分泌促進 ⑦ 腸内細菌叢の変化。 ⑧ 骨格筋の AMPK の活性化を介するグルコースの取り込み促進。 <p>白抜き M はメトホルミンの作用部位。</p>	 <p>図 II-1-1 ● メトホルミンの作用機序</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電子伝達系の complex 1 の抑制と AMP キナーゼ (AMPK) の活性化を介する、肝糖新生の抑制。 ② 電子伝達系の complex 1 の抑制とグルカゴンシグナルの抑制を介する、肝糖新生の抑制。 ③ グリセロールリン酸シャトルの抑制による肝糖新生の抑制。 ④ 胆汁酸トランスポーター (ASBT) の阻害による腸管内胆汁酸増加と GLP-1 の増加を介するグルカゴン作用の抑制。 ⑤ グルコースの吸収抑制 ⑥ グルコースの腸管腔への分泌促進 ⑦ 腸内細菌叢の変化。 ⑧ 骨格筋の AMPK の活性化を介するグルコースの取り込み促進。 <p>白抜き M はメトホルミンの作用部位。</p>
147	表 III -10-1 ルセオグリフロジンの用法・用量の欄	1日 5 ~ 10mg	1日 2.5 ~ 5mg